



会 社 名 岩崎通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
 近藤 恒男
 (コード番号 6704 東証第一部)
 問合せ先 取締役 執行役員
 西戸 徹
 TEL (03) 5370 - 5111

通期業績予想値と実績値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

東日本大震災に係る特別損失を計上することに伴い、平成 23年 2月 25日に公表した平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成23年 3月期(平成 22年 4月 1日 ～ 平成 23年 3月 31日)通期連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成 23年 2月 25日 発表)	27,100	△ 540	△ 460	4,090	40.69
実績値(B)	26,856	△ 331	△ 243	3,597	35.79
増減額(B-A)	△ 244	209	217	△ 493	△ 4.90
増減率(%)	△ 0.9	—	—	△ 12.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年 3月期)	27,096	△ 1,430	△ 1,316	△ 2,114	△ 21.03

2. 差異が生じた理由

連結売上高は、主として本年3月の東日本大震災の影響により約4億円の減少がありましたが、全体では前回見通し比約2億円の減少となります。

利益面につきましては、売上高は減少いたしましたが、原価率改善並びに費用圧縮の推進により約2億円改善し、連結営業利益は約3億円の損失、連結経常損失も約2億円の損失となります。また、当期純損失につきましては、本年4月に公表いたしました無形固定資産の臨時償却約6億円に加え、下記の通り東日本大震災による震災費用約2億円の特別損失が発生いたしましたため、当期純損失は約36億円の利益(前回見通し41億円の利益)と約5億円減少いたします。

3. 特別損失計上の理由

東日本大震災の発生により、以下の通り特別損失を計上いたします。

有形固定資産現状回復費	161 百万円
棚卸資産廃却費	17
その他	10
計	188

<業績予想に関する注意事項>

当資料に記載されている業績見通しおよび将来の予想に関する記述は、当社および当社グループにおいて現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、これら業績予想と大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。